

事業名	やまなしスポーツ顕彰事業費			調書番号	120
細事業名	やまなしスポーツ顕彰事業費	財務コード	370201		
担当部課室	教育委員会 部	スポーツ健康 課	競技スポーツ 担当 (内線)	8433	

I 事業の概要

実施期間	始期	H8 年度	～	終期	年度
実施主体	県(直営)				
目的	だれ(何)を対象に		その対象をどのような状態にして		結果、何に結びつけるのか
	○本県在住または本県にゆかりのある選手(個人・団体)・監督(指導者)		○県として優秀な功績をおさめた選手・監督を表彰している。		○選手は国際大会・全国大会等において、優秀な成績をあげる ○監督は優秀選手の育成・指導に功績大
内容	<p>○本県在住及び本県出身者で県外の大学やプロスポーツチーム等に所属しており特定の都道府県の代表としてではなく、日本代表等全国的な範囲で活躍している個人、団体を対象にオリンピック、パラリンピック(8位以内)、その他、世界選手権等の権威のある国際大会(3位以内)や全日本選手権、国民体育大会等の国内トップクラスの大会(優勝)において顕著な成績をおさめた個人または団体を表彰し、記念品及び賞状を授与する。</p> <p>○オリンピック大会、世界選手権大会等の種目別監督並びに国民体育大会等で個人は3年連続、団体は3つの年度において、優勝させた監督または主たる指導者を表彰し、記念品及び賞状を授与する。</p>				

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
活動指標	表彰者数	目標	70	75	73	113	83	113	84
		実績(見込)	70	75	73	113	83	113	
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標		目標							
		実績(見込)							
		達成率							
		達成区分							
決算(予算) 単位:千円		380	380	380	380	320	127	127	

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	「やまなしスポーツ賞」表彰要綱に基づき、受賞対象者については100%表彰することができた。
成果指標	b		本県にゆかりのある選手・監督のうち、優秀な功績を修めた方を表彰することで、県内スポーツ関係者の意気の高揚につなげ、県内スポーツ振興の推進が図られている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (県(知事)が表彰することで、関係者の意気の高揚、スポーツ振興の推進を図る。)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	現行の事業内容により、スポーツ振興の推進が図られ、意図した成果があげられている。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	現行の事業内容により意図した成果が達成されており、経費削減の努力も進めてきており、これ以上の見直しは困難。		
見直しの必要性	無	意図した成果があげられているとともに、事業費の削減を行っており、現状として改善の余地はない。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。